

令和7年2月5日(水)
令和6年度 東京都発達障害者支援地域協議会

令和6年度

東京都発達障害者支援センター(おとなTOSCA) 活動報告

③成人期発達障害者支援力向上研修



③-1.成人期発達障害者支援力向上研修※支援者の勤務地

2 【参考】Ⅰ：講演会、Ⅱ：パネルディスカッション、Ⅲ：困難事例検討会 ※事例検討会を区部・多摩地区に分けて開催など変更

令和6年6月吉日

東京都福祉保健局、東京都発達障害者支援センター おとなTOSCA主催

成人期発達障害者支援力向上研修

(専門的人材育成研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)

東京都における発達障害者支援は、区市町村ごとに体制整備が進められています。
発達障害者支援体制整備推進事業の一環として、区市町村における成人期の発達障害者の専門的人材育成の拡充と困難事例への支援力の強化を目的に、医療、司法、福祉の専門家を講師に招き、「成人期発達障害者支援力向上研修」をオンライン・対面で開催いたします。

【プログラム概要】

各回定員 **30名**

専門的人材育成研修Ⅰ 基調講演「診察室から見える発達障害者の困りごと」

専門的人材育成研修Ⅱ パネルディスカッション、機関交流・情報交換

専門的人材育成研修Ⅲ 困難事例検討会

受講対象者

- 勤務地が東京都内にある方
- 所属する機関において成人期の発達障害者支援に従事する方
- 成人期の発達障害者支援において、何らかの困りごとを抱える方

●専門的人材育成研修Ⅰ・Ⅱは
同日開催です。

●専門的人材育成研修Ⅲは、
23区と多摩地区（島しょ地域
含む）の2ヶ所で開催します。

Ⅰ.基調講演 テーマ「診察室から見える発達障害者のこまりごと」

Ⅱ.パネルディスカッション テーマ「当事者を支える地域支援者に向けた専門家からのメッセージ」

日 程：令和6年7月31日（水）13:00～16:30 ハイブリット型研修

場 所：ワイム貸会議室 お茶の水 Room D

基調講演講師：加藤 進昌氏（おとなTOSCAセンター長、精神保健指定医、神経研究所理事長）

～パネリスト～

司法の視点 三橋 昌平氏（三橋法律事務所 弁護士 医師）

福祉の視点 鈴木 慶太氏（株式会社Kaizen 代表取締役）

医療の視点 加藤 進昌氏（前掲）

申込め切：7月30日（火）15:00

申込QR



※参加申込URL※
<https://forms.gle/ZHdQtYYzzeu3ZUVM6>

Ⅲ.困難事例検討会（23区）

日 程：令和6年9月11日（水）13:00～16:30 対面型研修

場 所：ワイム貸会議室 お茶の水 Room B

（コーディネーター）

司法の視点 三橋 昌平氏（前掲）

医療の視点 加藤 進昌氏（前掲）

福祉の視点 鈴木 慶太氏（前掲）

申込め切：9月10日（火）15:00

申込QR



※参加申込URL※
<https://forms.gle/V2MFYM4rtvT3pCKjC8>

Ⅲ.困難事例検討会（多摩地区・島しょ地域）

日 程：令和6年11月13日（水）13:00～16:30 対面型研修

場 所：立川ホール 4階

（コーディネーター）

司法の視点 伊藤 克之氏（日野アビリティ法律事務所 発達障害者法律相談室 弁護士）

医療の視点 加藤 進昌氏（前掲）

福祉の視点 鈴木 慶太氏（前掲）

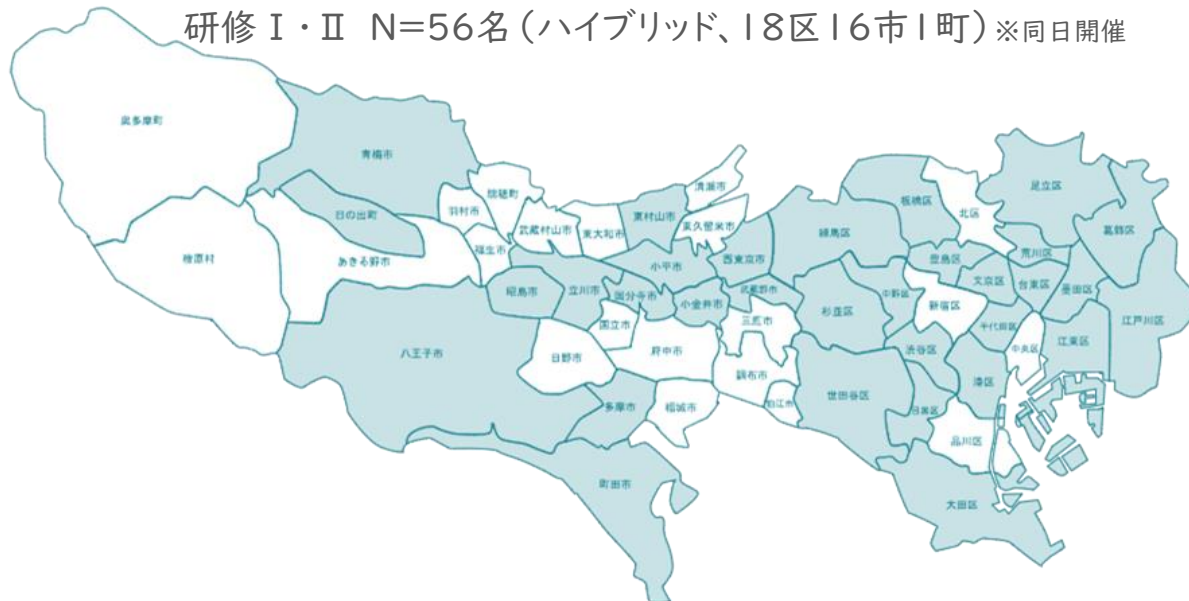
申込め切：11月12日（火）15:00

申込QR



※参加申込URL※
<https://forms.gle/cXKqkPFmoTwwuN3w9>

研修Ⅰ・Ⅱ N=56名（ハイブリット、18区16市1町）※同日開催



アンケート結果※一部抜粋

・「要支援者の支援について、医療の側面、地域(福祉)の側面の両輪で環境を整えていくことが必要であることを再確認できました」

・「8050問題、親亡き後の支援などについては、司法の知識がとても重要であり支援者として基本的な知識を得ることができた」「司法の視点では事実と時系列が重要な一方、発達障害者では事実を客観的に述べる、時系列で述べる等が難しいことがあるため、その部分での支援が必要だと感じた」

・「発達障害の診断名等よりも現場でどれくらいその利用者に合ったサポートが出来るかを考えた方がよい事 発達障害の定義が大きく曖昧な部分で全てを表す事が出来ない 見方によっては診断名が変わる場面もある事を念頭におき、本人の状態や環境を考慮していくことの重要性が学びになった」など

③-1.成人期発達障害者支援力向上研修※支援者の勤務地

3

【参考】Ⅰ：講演会、Ⅱ：パネルディスカッション、Ⅲ：困難事例検討会 ※事例検討会を区部・多摩地区に分けて開催など変更あり

研修Ⅲ【区部開催】 N=26名（集合研修、15区）



研修Ⅲ【市部開催】 N=26名（集合研修、13市）



アンケート結果※一部抜粋

- ・「発達障害だけでなく知的障害も交じった複合的な課題を包括した事例で、多角的な視点で分析、見立てを深く考えることができました」
- ・「他区、他職種の方と話す中で、大筋の方針や思いつくところの大体は似たものであることが逆に日々マニュアルのない業務で不安なところを少し安心することができました」
- ・「出来ない事に視野をおくより出来る事に視野をおいてアプローチするという方法は全く頭になかったので意識改革になりました」
- ・「本人主体の考えから外れがちになる傾向があるので、もう一度考え直して取り組んでいきたいと思います」
- ・「専門の地域機関との他職種連携、人脈づくりになった」など

アンケート結果※一部抜粋

- ・「テーマに対して複数の意見を聞くことで自身の固くなった考えを見直せました。司法、医療、福祉、教育それぞれの柱や、軸を意識した議論、考え方は今後も活用したい」
- ・「まだまだ福祉に必要な、今できていない支援があると思いました。スパッと解決できることはないのこれから色々考え事業を実施して行きたい」
- ・「普段、同じ業種の方との検討が多いので、多職種の方とお話できたこと、ご意見を伺えたことが、大変参考になりました。フレームワーク、捉え方の別視点が参考になりました」
- ・「発達障害に関係する周囲のサポートも大切なので広い視野で捉えアプローチを考えていきたい」

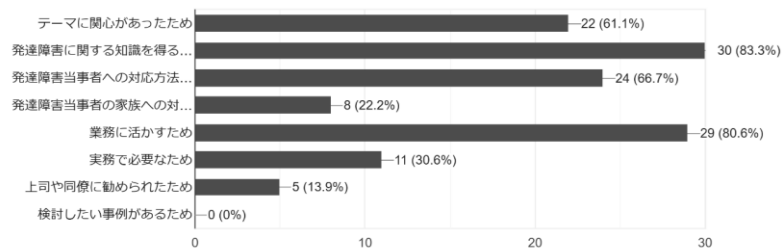
③-1.アンケート結果

4

研修Ⅰ・Ⅱ 講演会・パネルディスカッション

Q 3. 研修にお申込みいただいた理由を教えてください（複数選択可）。

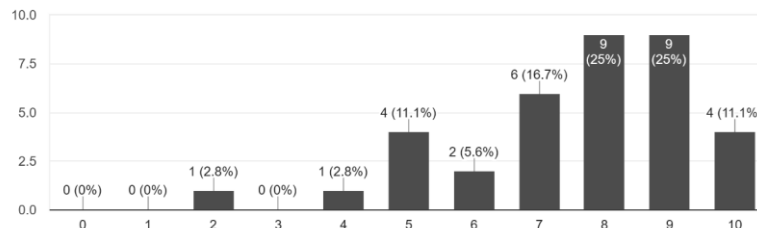
36 件の回答



Q 4. 研修Ⅰ基調講演①

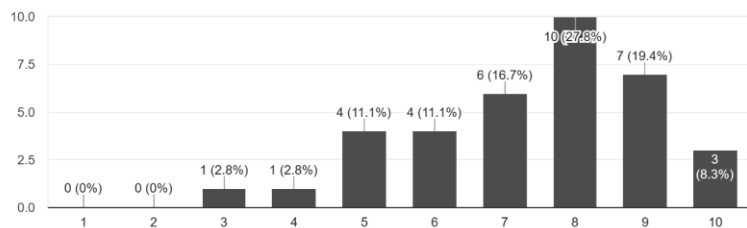
「『発達障害とはなにか』～診察室から見える発...と～」を10点満点で採点すると何点でしたか？

36 件の回答



Q 7. パネルディスカッションを10点満点で採点すると何点でしたか？

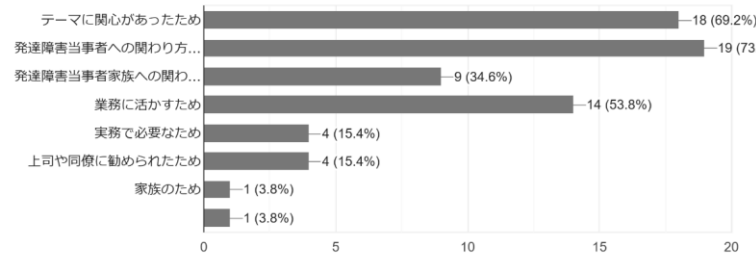
36 件の回答



研修Ⅲ 困難事例（区部）

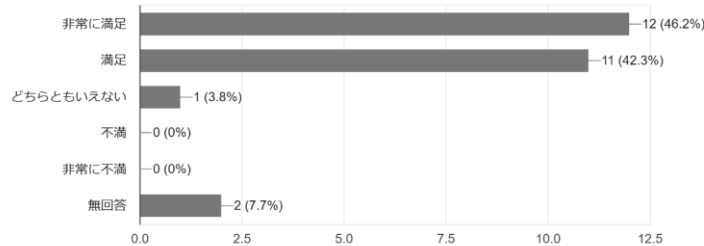
Q1. 研修にお申込みいただいた理由を教えてください（複数選択可）。

26 件の回答



Q2. 困難事例検討会の満足度を教えてください

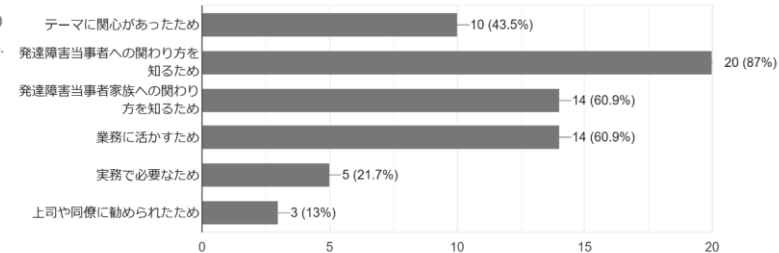
26 件の回答



研修Ⅲ 困難事例（市部）

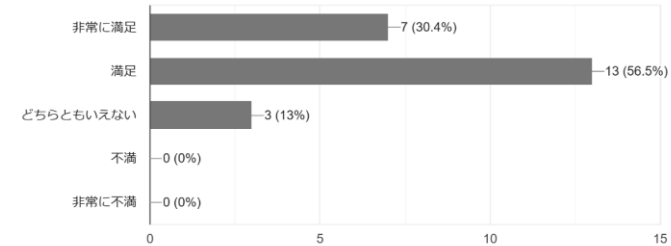
Q 3. 研修にお申込みいただいた理由を教えてください（複数選択可）。

23 件の回答



Q 4. 困難事例検討会の満足度を教えてください

23 件の回答



③-2.中間総括

・研修Ⅰ・Ⅱ（講演会・パネルディスカッション）をハイブリッド形式にしたことにより、18区16市1町から56名（対面16名、オンライン40名）が参加であり、各地域からの参加がしやすい形態だったと考えられる。

・提出される事例は複合的な問題が多く、今年度は一側面からの検討にはせず、複合的に検討することとした。医療、福祉、司法の視点での事例検討を前提に進めていたものの、事例提供者や一部のコーディネーターからも「教育」の視点が必要ではないかという指摘を受けた。18歳前後のつなぎの年代であれば特にその視点は重要となるため、次年度は「教育」の視点も取り入れたファシリテーターの調整も検討していきたい。

・研修Ⅲ（困難事例検討会）は、昨年度までは「医療」「福祉」「司法」の各分野をそれぞれ区部での対面開催としていたが、多摩地区からの参加者の利便性も考慮し、区部と多摩地区それぞれでの開催とした。結果的に、区部・多摩地区ともに参加者26名（定員30名）であったが、申込時点では多摩地区が36名に達していた。同じ多摩地区でも区部の方がアクセスしやすい地域もあり、次年度以降も同程度もしくはそれ以上の参加人数であることを想定し、困難事例検討会を3カ所で開催することを検討していく。